



A

担任の先生がつくる 英語活動のポイント

Z

平成23年度から必修化される小学校5、6年生の英語活動。クラス担任の先生には難しいのではないかと……という声も聞かれます。そこで本号では、昭和女子大学附属昭和小学校の小泉清裕校長先生に担任の先生がつくる英語活動のポイントをお話いただくとともに、英語活動に関する研究に取り組んでこられた神奈川県の上大井小学校の様子をレポートします。

A チャンス到来！

Z

今までにお会いした小学校の先生方にわたしが質問をしてわかったことは、80%以上の小学校の先生は中学校時代から英語があまり好きではなかったということ。そして、その先生方が英語活動を実践していかねなければならぬという現実が直面しています。

小学校の先生はなんでもまじめに取り組む人たちの集団です。きっと英語の学習も本当は一生懸命に行ってきたはずですが、実際に英語を使う機会がほとんどなかったため、「自分は英語を使えない」と思ってしまったのでしよう。

A 中学1年生レベルの英語で伝えたいことを書く

Z

小学校英語活動では、先生が使う英語を、中学校1年生で学んだ英語表現に限定します。そして、言いたいことを英語で書いてみましょう。書けない英語は話せません。中学校や高校の時代に、自分自身の思いや考え、物事の説明などをやさしい英語で書く活動の経験がなかったため、書くことを難しいと感じてしまっ

ています。改めてこの練習をちょっとしてみようと、きつと英語を書くことに自信がもてるはず。そして、自分で書いた英語をゆつくりと、ていねいに、気持ちを込めて読むことで、子どもたちは先生が伝えようとしていることを理解できます。書いた英語は間違いにも気づくことができませんし、英語のできる人に意味が通じるかどうか見てもらうこともできます。

A 子どもたちが興味をもつ内容選びが重要

Z

英語を書く場合、最も重要なことは、書いた内容がおもしろいかどうかということ。日本語で聞いておもしろくないものは、英語で聞いてもおもしろいはずがありません。子どもたちにとって興味深い内容の選択に力を注ぐべきです。

子どもたちは、先生が英語を話すことよりも、英語を読めることを高く評価します。ある程度話ができる3歳の子どもは、まだ文字を読むことができません。文字を読むことはしゃべることよりも高度なことと子どもたちは感じているのです。堂々と凛々しく、書いたものを手に持つて自信をもって読んでください。

- シリーズ内容
- ①〈前号〉どのような英語活動が優れた活動なのでしょう
 - ②〈本号〉担任の先生がつくる英語活動のポイント
 - ③〈9号〉よりよい英語活動をめざして

昭和女子大学附属昭和小学校 校長
小泉 清裕

こいずみ きよひろ* 1977年から昭和女子大学附属昭和高等学校で英語教員として教壇に立つ。以後、同附属中学校、及び同大学で英語教員として勤務。1994年から同附属小学校の英語教育の開設にともない、小学校で英語教育の実践と研究に従事し、同時に附属幼稚園での英語活動の指導も行って来た。現在は附属小学校校長の任にあわせて、同大学と大学院で小学校英語教育についての講座を持ち、教員養成にもかかわっている。2010年現職。NHK教育テレビ「スーパーえいごリアン」の企画委員。日本児童英語教育学会副会長。著書も多数。

子どもと親と先生に伝えたい現場発!小学校英語(文溪堂) 定価1,600円

活動のようす

題材名	オリジナルカレーライスをつくらう
題材のねらい	・英語での野菜などの言い方を扱った活動を楽しみながら、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。 ・「○○を持っていますか」の言い方を知り、野菜などを用いた活動を通して友だちとのコミュニケーションを楽しむ。
本時のねらい	友だちとインタビューしあう活動を通して、材料を集めるときの英語表現に慣れ親しむ。

神奈川県
大井町立
上大井小学校
*
5年生



田中里美先生

今回、活動紹介をする、上大井小学校の田中里美先生は、ここで提案している活動を見事に実践しています。英語活動を自分自身が楽しみ、そして、子どもたちに英語で話しかけるために、言いたいことを英語で書き、それを手元において活動を進めています。

A 上大井小学校の田中里美先生の英語活動

Z



Good afternoon, everyone. What day is it today?
定型のあいさつ、月日、曜日、天気の確認などから授業スタート。もちろんすべて英語。田中先生は **Good! Excellent!** を連発して雰囲気盛り上げる。通常の授業時に比べるとちょっとハイテンションだが、子どもたちが違和感を覚えている様子はない。CDに合わせて歌を歌ったりチャンツを行ったりして、英語を使った学習に向かう気持ちを高める。



Look at this picture. What's this?
カレーに使う食材の写真をスリットから見せ、それが何かを当てさせる。さらに、手触りだけでブラックボックスの中に入っている野菜を当てるゲームへと展開し、子どもたちは大盛り上がり。食材の英語名を紹介するが、強いて子どもたちに英語を使うことを求めはしない。それでも、トマトに関するヒントで **Red!** といった言葉が子どもたちから自然と出てくる。
ただ、**Please say "Open"** と投げかけたところ、意味をうまく理解できなかった子どもたちからそのまま **Please say "Open"** と復唱されてしまい、先生が思わず苦笑する場面も。

Do you have ~? Yes, I do. Here you are の表現を練習。Activity 3 に向けたルール説明的な要素も強い活動。



カレーに使う食材が描かれたカードを用意。カードを渡す側ともう側に分かれ、自由に歩き回りながら自分がほしい食材のカードを集めるゲーム。相手が目的の食材を持っているかどうかはActivity 2 で練習した英語でたずねる。途中で渡す側ともう側を交代。
単に求める食材を持っているかどうかをたずねるだけでなく、**Hello** から始まり、**Thank you. Bye.** で終わる会話の一連の流れも体験する。



目的の食材カードがほぼ集まったところで子どもたちは席にもどり、カードを台紙に貼る。
どんな食材を集めたのか何人かが発表したのち、授業のまとめに。「夏休みにはオリジナルカレーをつくってみてね。それから、こんどの木曜日の給食にはカレーが出るわよ。何が入っているか楽しみね」と、授業と子どもたちの実生活とを関連づける投げかけを行って授業終了。授業終了後には前述のことを日本語で補足説明していた。

- 授業の流れ
- ① あいさつ Greetings
ウォームアップ Warm Up
 - ② 活動1 Activity 1
 - ③ 活動2 Activity 2
 - ④ 活動3 Activity 3
 - ⑤ ふりかえり End of Lesson
あいさつ Greetings



R

G

上大井小学校の英語活動の取り組み

真野 実はわたしは英語が嫌いでした。自分には絶対無理だと思っていたんです。実際、最初の年はゲームしたいなと思います。

山崎 わたしはちょっと楽観的にDVDでもかけておけばいいんじゃないかなと思ったこともあったのですが、やはりそれだけではだめですね。何



真野晋吾先生

小泉 どの先生方もご自身が小学生のときには英語活動の授業はなかなかたわげですよ。

山崎 わたしはちょっと楽観的にDVDでもかけておけばいいんじゃないかなと思ったこともあったのですが、やはりそれだけではだめですね。何

小泉 上大井小学校は平成19年度から文部科学省や神奈川県から指定校として英語活動に関する研究に取り組みしてきました。わたしもこれまで何回か拝見していますが、とても素晴らしい英語活動の授業を実践されていると思います。いろいろな苦労があったんでしょうね。

酒井 英語活動は、以前はALTを中心として行い、担任は教室の後ろで見ているだけといった感じでした。でも、子どもたち一人ひとりのことをよく知っている担任がもっと主体的に取り組みむことができるのではないかと……ということの研究を進めてきました。



酒井正代先生
(教務主任)

小泉 先生方の英語活動に対する心のバリエーションがなくなると、子どもたちのバリエーションもなくなってきたということですね。

酒井 ALTの先生から英語に関する情報をもらいつつ、こちらからも「こういうことをやりたい」ということを伝えるように心がけました。ALTと担任、双方の良さを活かした英語活動ができればと思っています。

をさせるくらいしか思いつかず、結局ワーワーと騒いで終わりになってしまうといったこともありました。

でもそのうち、子どもたちが自分で英語を使ってみたくなるシチュエーションをつくるのが大切なんだとか、簡単な英語でも伝わるし、子どもたちもそれで満足しているんだということがわかってきて、ずいぶん気持ち楽になりました。

小泉 田中先生は以前は低学年を担当していて、今年5年生。違いは



佐宗敏美先生

佐宗 昨年2年生を担当し、今年は1年生を担当しています。2年生のときには前の年からの積み重ねがあったので、ああ、こんな感じかなと思っていました。今年、ほぼゼロの状態からスタートする1年生ではどうなることやらと思っていたのですが、実際にやってみると、ハードルは意外と低いですね。HelloとかGood jobとか、必要以上に意識することはなく、自然に出てくるようです。



山崎早苗先生

田中 思っていた以上に大きいですね。先ほど佐宗先生がおっしゃったように低学年の子どもはあまり深い意味は考えずに反射的にGood jobとかやっているところもあると思うんですが、高学年になると意味を考え出すんですね。だから子どもたちの反応も低学年よりもワンテンポ遅くなる。わたしも、子どもたちがちゃんと聞き取れるように、話し方にも気をつけなくちゃいけないということ、最近思うようになりました。



田中里美先生



司会：
小泉清裕先生

酒井 教師がいろいろな工夫を重ねたり、教材を選んだりといったことが大切だという点では他の教科とまったく同じ。英語だけが特別なんじゃないんだということを強く感じました。

小泉 なるほど。実際にご自身で取り組まれたからこそ言葉ですね。

School Data

神奈川県大井町立
上大井小学校

- 校長：一寸木 肇先生
- 児童数：404名
- 学級数：15学級
- 所在地：神奈川県足柄上郡大井町上大井 171
- TEL：0465-83-1151
- e-mail：kamis00@educet.plala.or.jp



●●わたしの英語活動●●

題材選びはリアリティを重視

小泉 今回、カレーを授業の題材に取り上げたのは？

田中 少し前に家庭科の授業でカレーをつくったり、9月に行く林間学校でもメニューにカレーが予定されていたりと、子どもたちにとって身近な素材だったので、英語活動ともリンクさせてみよう。

小泉 すばらしいことですね。小学校でも高学年になると活動にリアリティが大切です。名前を知っているクラスメイトにWhat's your name? How old are you? など聞いてみたところで、会話にリアリティがないから白けて興味を失ってしまいます。今日のような投げかけ方をすれば、子どもたちも夏休み中や林間学校のときにきくと今日の英語活動を思い出すでしょうね。そういった生活にきちんと結びついた姿こそ英語活動の本来の姿だと思います。本当にすばらしい題材の選び方ですね。

ところで、授業中ずいぶん英語がスラスラ出てきましたね。何か準備をしたのですか？

田中 えっ、ぜんぜん出ていないですよ。英語が得意なほうではないので、授業の前にシナリオをつくって、練習しています。ただ、思ったような反応が子どもたちから出なかったりすると、あせって説明しようとして、かえって言葉が止まってしまうことがあります。今日も、カードをやりとりするゲームのルールをうまく説明することができなくて、子どもたちをとまどわせてしまいました。

小泉 どれどれ、ちょっとノートを拝見……。すごい！1時間の授業での会話が全部書いてある。せっかくシナリオを準備されているのなら、例えばルールの説明の部分などは、あえて文章を読み上げてもいいのでは。そのほうがゆっくり落ち着いてメリハリを出しながら読めるので、子どもたちも聞き取りやすいと思います。



田中先生の授業ノート
(シナリオ)



事前に「シナリオ」を用意して暗記するようにしていますが、いざとなると言葉が出てこなくて…。(田中先生)

単元	単元目標	学習目標	指導案
1. 挨拶	自分や他人の名前を英語で言える。	自分や他人の名前を英語で言える。	自分や他人の名前を英語で言える。
2. 年齢	自分の年齢を英語で言える。	自分の年齢を英語で言える。	自分の年齢を英語で言える。
3. 曜日	曜日の名前を英語で言える。	曜日の名前を英語で言える。	曜日の名前を英語で言える。
4. 季節	季節の名前を英語で言える。	季節の名前を英語で言える。	季節の名前を英語で言える。
5. 食べ物	食べ物の名前を英語で言える。	食べ物の名前を英語で言える。	食べ物の名前を英語で言える。
6. 動物	動物の名前を英語で言える。	動物の名前を英語で言える。	動物の名前を英語で言える。
7. 植物	植物の名前を英語で言える。	植物の名前を英語で言える。	植物の名前を英語で言える。
8. 職業	職業の名前を英語で言える。	職業の名前を英語で言える。	職業の名前を英語で言える。
9. 場所	場所の名前を英語で言える。	場所の名前を英語で言える。	場所の名前を英語で言える。
10. 天気	天気の名前を英語で言える。	天気の名前を英語で言える。	天気の名前を英語で言える。

指導案は、hito*yumeのホームページからダウンロードできます。

文芸堂トップ ▶ 学校用教材 ▶ hito*yume ▶ インデックス

あえて「わかりにくく」することから言葉が生まれる

小泉 ブラックボックスを使ったゲームは、子どもたちもずいぶん盛り上がっていましたね。でも、問題がちよっと簡単すぎたのでは。

田中 子どもたちが正解を出せないと思えば授業が進まないと思って、あえてわかりやすくしたのですが……。

小泉 むしろ逆の発想をしてみたいかがですか。ものすごくわかりにくいもの、例えば……キャベツの芯だけを置いてみたら、解答役の子どもと観客役の子どもたちとの間で、何が始まると思いますか。

田中 そうですね、ヒントを出したり……。

小泉 そう。そこに言葉が存在するんですよ。わかりにくいからこそ言葉で説明しようとするんです。授業で見せる写真などにしても、すぐにわかってしまっただけ。あえて言葉、すなわち、英語で補足説明することが、子どもたちが英語と接する機会を増やすことにもなるのです。

用意した文章を読んでもいいのですよ。そのほうが内容がしっかり伝わり、子どもたちもわかりやすくなります。(小泉先生)



Y

B

O